

福山中・高等学校 中高一貫シラバス(期間指導項目・評価)

教科	国語	科目		期間	1学期前半(中間試験)
中高・学年	中学校3年	授業時数 期間 / 年間	14 / 103	教科書	光村図書 国語3年 書写2・3年
副教材	1 よくわかる国語の学習3	副教材	2 楽しく学べる文法ノート	副教材	3 最新国語資料集

年間の到達度目標	<p>・自分のものの見方や考え方を深め、目的や場所に応じて的確に話したり聞いたりする能力を身に付けさせるとともに、話し言葉を豊かにしようとする態度を育てる。〔話すこと・聞くこと〕</p> <p>・様々な材料を基にして自分の考えを深め、自分の立場を明らかにして、論理的に書き表す能力を身に付けさせるとともに、文章を書くことによって生活を豊かにしようとする態度を育てる。〔書くこと〕</p> <p>・目的や意図に応じて文章を読み、広い範囲から情報を集め、効果的に活用する能力を身に付けさせるとともに、読書を生活に役立て自己を向上させようとする態度を育てる。〔読むこと〕</p>
----------	--

期間の到達度目標 (含定期テスト)	<p>〔関〕詩や小説の表現や内容に興味を示し、感じたことや考えたことを積極的に交流したり、相手を意識して説明の仕方を工夫して話したりしようとする。</p> <p>〔話〕情報を正確に把握し、相手に合わせて情報を再構成し、言い換えたり解説を加えたりして、分かりやすく説明することができる。</p> <p>〔読〕詩や小説の表現の特徴や構成に着目して、登場人物の人物や心情、書き手の思いをとらえることができる。</p> <p>〔言〕複数の意味をもつ漢字の読み方と意味が分かり、使い分けすることができる。</p> <p>学年末試験70点以上得点者70%</p>
-------------------	---

標準テスト等の目標	
-----------	--

月	単元・題材	主たる指導項目	主な言語活動	主な評価規準 関心・意欲・態度 話す・聞く 書く 読む 言語事項	主な評価方法
4	1 心の在り方 「わたしを束ねないで」 「握手」	詩の表現(C 表現の仕方)	音読      新聞づくり	詩や小説の表現や内容に興味を示し、感じたことや考えたことを積極的に書き出したり友達と交流したりしようとしている。 詩の表現の特徴をとらえ、人間は自分の意思で自由に生きていくものという作者の思いを読み取っている。 作品全体の構成を、現在と過去の表現に着目して読み取っている。 表現を手がかりにして、ルロイ修道士の人物や心情、「わたし」の思いを読み取っている。	ノート      ワークシート
		詩の内容(C 主題・要旨・意見)			
		作品の構成(C 構成・展開)			
		作品の内容(C 語句の意味・用法)			
		作品の内容(C 語句の意味・用法)			
		作品の表現(C 表現の仕方)			
		作品の主題(C 主題・要旨・意見)			
5	言語 敬語	敬語の理解(言 言語生活)		敬語の種類と役割を理解し、相手に応じて適切に使っている。	ワークシート
	漢字 形に注目して漢字を考える	漢字の形(言 漢字)		漢字の組み立ての違いに着目し、意味や音の違いを理解している。	ノート
	相手を意識して伝えよう	情報の整理・再構成(A 構成・論理)	説明	相手を意識して説明の仕方を工夫したり、他者の良い点を自分の説明に生かしたりしようとしている。 情報を正確に把握し、相手に合わせて情報を再構成し、言い換えたり解説を加えたりして分かりやすく説明している。 相手を考え、声の大きさ、強弱や高低、間の取り方、スピードなどを意識して説明している。	情報メモ 説明メモ
		相手に分かりやすい説明(A 語句・文)			
		相手・場所に応じた話し方(言 音声)			説明
漢字 異なる意味をもつ漢字	異なる意味をもつ漢字(言 漢字)		複数の意味をもつ漢字の読み方と意味が分かり、使い分けている。	ノート	
	中間試験			テスト	
指導方法の工夫改善等		主体的な言語活等を促す教材・学習活動を工夫する。 多面的な評価(指導者による評価、ふり返りカードによる自己評価、伝え合う相手からの評価等)を指導の改善に生かす。			
課題・提出物等		新聞、ノート、ワークシート			
未到達者への対応		中間テスト実施後、補充課題をさせ、個別に指導する。			
総合的な学習の時間、道徳(教育)、特別活動との関連等					

福山中・高等学校 中高一貫シラバス(期間指導項目・評価)

教 科	国語	科 目	期 間	1学期後半(期末試験)	
中 高 ・ 学 年	中学校3年	授 業 時 数 期 間 / 年 間	23 / 103	教 科 書	光村図書 国語3年 書写2・3年
副 教 材	1 よくわかる国語の学習3	副 教 材	2 楽しく学べる文法ノート	副 教 材	3 最新国語資料集

期間の到達度目標 (含定期テスト)		<p>[関]メディア社会やメディアの働きに関心を持ち、課題意識をもって文章を読んだり、自分が伝えたい題材を選び、工夫して新聞記事を書くことしたりする。</p> <p>[書]身近な話題から知らせたい題材を選び、新聞の特徴に即して、表現や構成を工夫して新聞記事を書くことができる。</p> <p>[読]問題意識をもって筆者の意見を読み取り、自分の考えを深めるとともに、俳句の特徴や約束事を理解し、使われている語句や表現に着目して例句を読み味わうことができる。</p> <p>[言]行書の特徴に気をつけ、漢字と仮名を調和させて書くことができる。</p> <p>学年末試験70点以上得点者70%</p>			
標準テスト等の目標					
月	単元・題材	主たる指導項目	主な言語活動	主な評価規準 関心・意欲・態度 話す・聞く 書く 読む 言語事項	主な評価方法
5 6	2 社会をとらえる 「メディア社会を生きる」	文章の内容(C 語句の意味・用法)	話し合い	メディア社会やメディアの働きについて関心を持ち、課題意識をもって文章を読もうとしている。 メディアの定義と働きを理解するとともに、例示の効果に気をつけてメディアについての筆者の考えを読み取っている。 筆者が指摘するメディアとの関係の二つの問題点を読み取り、それに対する自分の考えをまとめている。	ノート ワークシート
		文章の内容(C 表現の仕方)			
		文章の構成(C 構成・展開)			
		筆者の主張(C 主題・要旨・意見)			
		自分の考え・意見(A 発想・認識)			
	文法の広場 助詞と助動詞 新聞の特徴を生かして書こう	助詞の意味・働きの理解(言 単語)	新聞づくり	新聞の特徴を知り、自分が伝えたい題材を選び、工夫して記事を書くこととしている。 記事を比較することで、新聞の構成や表現の仕方の特徴をとらえている。 身近な話題から知らせたい題材を選び、新聞の特徴に即して、表現や構成を工夫して記事を書いている。 記事を読み合い、互いの良い点や問題点を指摘し合い、自分の表現に役立てている。	ワークシート ノート 構想メモ 新聞
		助動詞の意味・働きの理解(言 単語)			
		新聞の構成の特徴(C 構成・展開)			
		新聞の表現の特徴(C 表現の仕方)			
		情報収集・整理(B 発想・認識)			
7	豊かな言葉 「俳句の可能性」	記事の構成(B 構成)	鑑賞文	俳句の特徴や約束事を知り、使われている語句や表現に着目して例句を読み味わっている。	ノート 鑑賞文
		記事を書く(B 記述)			
		記事を書く(B 推敲)			
		記事の発表・交流(B 評価)			
		俳句の表現(C 表現の仕方)			
	書写 本の世界を広げよう[高瀬舟]	期末試験			テスト
		書写(言 行書と仮名)	読書記録	小説を読み味わい、人間・社会・生命について考えている。 読書案内等を参考に、夏休みに読みたい本を三冊以上見つけようとしている。	作品 読書記録
		書写(言 行書と仮名)			
		小説を読んで感想をもつ(C 主題・要旨・意見)			
		読書計画・読書記録(関心)			
指導方法の工夫改善等	主体的な言語活動を促す、教材・学習活動を工夫する。 多面的な評価(指導者による評価、振り返りカードによる自己評価、伝え合う相手からの評価等)を指導の改善に生かす。				
課題・提出物等	新聞、鑑賞文、読書記録、書写作品、ノート、ワークシート				
未到達者への対応	期末テスト実施後、補充課題をさせ、個別に指導する。				
総合的な学習の時間、道徳(教育)、特別活動との関連等					

福山中・高等学校 中高一貫シラバス(期間指導項目・評価)

教 科	国語	科 目		期 間	2学期前半(中間試験)
中 高 ・ 学 年	中学校3年	授業時数 期間 / 年間	16 / 103	教 科 書	光村図書 国語3年 書写2・3年
副 教 材	1 よくわかる国語の学習3	副 教 材	2 楽しく学べる文法ノート	副 教 材	3 最新国語資料集

期間の到達度目標 (含定期テスト)		[関]詩や小説の表現や内容、背景などに関心をもち、作品を読み取ったり、パネル・ディスカッションの準備を積極的に進めたりしようとする。 [話]根拠を明らかにしながら、話の論理的な構成や展開を考えて意見交換をし、テーマに対する自分の考えを深めることができる。 [書]身の回りの風景を描写する文章を書くことができる。 [読]詩を読んで生きることや平和の意味を考えたり、情景や人物を描写する語句や表現、人物同士の関係の変化に着目しながら小説を読んだりすることができる。 [言]重箱読み・湯桶読みを区別して熟語を読むことができる。 学年末試験70点以上得点者70%			
標準テスト等の目標					
月	単元・題材	主たる指導項目	主な言語活動	主な評価規準 関心・意欲・態度 話す・聞く 書く 読む 言語事項	主な評価方法
8	3 状況に生きる	詩の表現(C 表現の仕方)	朗読	詩や小説の表現や内容、背景などに関心をもち、作品を読み取るうとしている。 詩に込められた作者の思いを自分たちの日常生活と重ね合わせて、生きることや平和の意味を考えている。 情景や人物を描写する語句や表現に着目し、20年前と現在の「わたし」の心情の変化を読み取っている。 人物同士の関係の変化から、「わたし」の思いを読み取っている。 作品の情景描写を参考に、身の回りの風景を描写する文章を書いている。	ノート
	「挨拶・原爆の写真に寄せて」	作者の思い(C 主題・要旨・意見)			ワークシート
9	「故郷」	作品の構成(C 構成・展開)	感想文		感想文
		作品の内容(C 語句の意味・用法)			描写文
		作品の内容(C 表現の仕方)			
		作品の内容(C 表現の仕方)			
		作品の主題(C 主題・要旨・意見)			
		風景を描写する(B 発想・認識)	描写文		描写文
	言語 比喩と慣用句	比喩と慣用句(言 語句、語彙)		比喩や慣用句の特徴や効果を理解し、意味を理解して例文を書いている。	ワークシート
	漢字 熟語の読み方	熟語の読み方(言 漢字)		重箱読みか湯桶読みかを区別して熟語を読み、その意味を理解している。	ワークシート
10	話し合って考えを深めよう	パネル・ディスカッションの方法(関心)	パネル・ディスカッション	パネル・ディスカッションに興味をもち、情報収集や役割分担など、進んで話し合うための準備をしようとしている。 テーマを決め、根拠を明らかにしながら、話の論理的な構成や展開を考えて意見交換をしている。 相手の立場や考えを尊重し、話し合いが目的に沿って効果的に展開するように話したり聞き分けたりして、テーマに対する自分の考えを深めている。	意見メモ
		テーマの決定(A 発想・認識)			話し合いメモ
		情報収集(C 情報活用)			
		自分の意見をまとめる(A 構成・論理)			
		パネル・ディスカッションの方法(A 話し合い)			
		中間試験			
指導方法の工夫改善等		主体的な言語活動を促す教材・学習活動を工夫する。 多面的な評価(指導者による評価、ふり返りカードによる自己評価、伝え合う相手からの評価等)を指導の改善に生かす。			
課題・提出物等		感想文、描写文、ノート、ワークシート			
未到達者への対応		中間テスト実施後、補充課題をさせ、個別に指導する。			
総合的な学習の時間、道徳(教育)、特別活動との関連等					

福山中・高等学校 中高一貫シラバス(期間指導項目・評価)

教 科	国語	科 目	期 間	2学期後半(期末試験)	
中 高 ・ 学 年	中学校3年	授業時数 期間 / 年間	27 / 103	教 科 書	光村図書 国語3年 書写2・3年
副 教 材	1 よくわかる国語の学習3	副 教 材	2 楽しく学べる文法ノート	副 教 材	3 最新活用資料集

期間の到達度目標 (含定期テスト)		<p>[関]古典に関心をもち、古文・漢文のリズムや響きを生かして声に出して読んだり、筆者の考えの根拠や述べ方に関心をもち、論理的文章を読んだりしようとする。</p> <p>[読]表現の特徴に着目して古文・漢文を読み、自然や人生に対する作者の思いや考え方をとらえることができる。根拠や理由に着目して文章を読み、論理の展開を考えながら筆者の主張を読み取るとともに、自分の考えをもつことができる。</p> <p>[言]配列・配置を考え、行書と仮名を調和させて書くことができる。難読熟語を正しく読むとともに、対義語・類義語を適切に使うことができる。イントネーションや表現によって生じるニュアンスの違いについて理解している。</p> <p>学年末試験70点以上得点者70%</p>			
標準テスト等の目標					
月	単元・題材	主たる指導項目	主な言語活動	主な評価規準 関心・意欲・態度 話す・聞く 書く 読む 言語事項	主な評価方法
10	書写	書写(言 行書と仮名)		始筆・終筆の方向の変化や連続に注意して、行書に調和する仮名を書いている。 配列・配置を考え、行書と仮名を調和させて書いている。	作品
		書写(言 行書と仮名)			
		書写(言 行書と仮名)			
11	4 古典を楽しむ	和歌への関心(関心)	音読・暗唱	古典に関心をもち、古文・漢文のリズムや響き、特有の言い回しを楽しみながら声に出して読もうとしている。	音読
	『古今和歌集 仮名序』	和歌の鑑賞(C 表現の仕方)	鑑賞文	表現の特徴に着目して古典和歌の作品を読み、作者の自然・人間・生活等に対する思いを考えている。	鑑賞文
	『君待つと - 万葉・古今・新古今 -』	和歌の鑑賞(C 語句の意味・用法)		表現の特徴に着目して「おくのほそ道」を読み、芭蕉の自然や人生に対するもの見方や感じ方をとらえている。	
	『夏草 - おくのほそ道から -』	作品の音読(C 表現の仕方)		漢文特有の言い回しに着目して「論語」を読み、人間の生き方に対する孔子の考え方をとらえている。	
		作品の内容(C 語句の意味・用法)			
		芭蕉のもの見方・考え方(C 主題・要旨・意見)			
	『学びて時にこれを習ふ - 論語から』	漢文特有の言い回し(C 表現の仕方)			
		孔子のもの見方・考え方(C 主題・要旨・意見)			
	漢字 身の回りの漢字	身の回りの漢字(言 漢字)		難読熟語の読み方や意味を辞書で調べ、例文の中で適切に使っている。	ワークシート
5	論理の展開	文章の内容(C 語句の意味・用法)	意見文	筆者の考えの根拠や述べ方に関心をもち、文章を読もうとしている。根拠や理由に着目して文章を読み、論理の展開を考えながら筆者の主張を読み取っている。	ノート
	『生き物として生きる』	文章の内容(C 表現の仕方)			
		文章の論理展開(C 構成・展開)			
		筆者の主張(C 主題・要旨・意見)			
		自分の考えをまとめる(B 事柄・意見)			
	文法の広場 コミュニケーション	コミュニケーション(言 話や文章・文)		イントネーションや表現によって生じるニュアンスの違いについて理解している。	ワークシート
	漢字 反対の意味の熟語・似た意味の熟語	対義語・類義語(言 語句)		反対の意味、似た意味という言葉の関係に気をつけ熟語を適切に使っている。	ワークシート
12	期末試験				テスト
	説得力のある文章を書こう	根拠となる情報の収集(B 発想・認識)	意見文	意見文を書くことに意欲をもち、積極的にテーマを設定し、書くことを通じて自分の考えを深めようとしている。 説得力のある主張をするために、根拠や現実的な解決策を提示し、効果的な構成を考えて書いている。 書いた文章を読み合い、論理の展開の仕方や材料の活用の仕方などについて評価し、自分の表現に役立てている。	構成メモ 意見文
		主張の内容(B 事柄・意見)			
		意見文の構成(B 構成)			
		意見文を書く(B 記述、推敲)			
		意見文の交流(B 評価)			
	書写	書写(言 行書を生かす)		行書と仮名を調和させて、用紙に合わせて字配りよく書いている。	作品
		書写(言 行書を生かす)			
指導方法の工夫改善等		主体的な言語活動を促す教材・学習活動を工夫する。 多面的な評価(指導者による評価、ふり返りカードによる自己評価、伝え合う相手からの評価等)を指導の改善に生かす。			
課題・提出物等		鑑賞文、意見文、書写作品、ノート、ワークシート			
未到達者への対応		期末テスト実施後、補充課題をさせ、個別に指導する。			
総合的な学習の時間、道徳(教育)、特別活動との関連等					

福山中・高等学校 中高一貫シラバス(期間指導項目・評価)

教 科	国語	科 目	期 間	3 学期(学年末試験)
中 高 ・ 学 年	中学校 3 年	授 業 時 数 期 間 / 年 間	25 / 103	教 科 書
副 教 材	1 よくわかる国語の学習3	副 教 材	2 楽しく学べる文法ノート	3 最新国語資料集

期間の到達度目標 (含定期テスト)		[関]アルバム編集に関心をもち、3年間で身につけた国語の力を生かし、自分にとっての「出会い」や「未来」を考えた作品を作成しようとしている。 [話]随筆や詩を読んで考えたことを話し合うとともに、アルバムにこめた思いを伝えるスピーチを話し合い、自分自身と友だちについて理解を深め合うことができる。 [書]卒業記念にふさわしい材料を集め、書く内容や配列、レイアウトや表紙、題名などを工夫してアルバムを編集することができる。 [読]ドキュメンタリー、随筆、詩などの作品を読み、筆者や作者の思いをとらえるとともに、人間・社会・文化などについて考えを深めることができる。 [言]卒業にあたって自分が残したい言葉を選び、相手や目的、内容にふさわしい書体を選び、配列・配置を工夫して書くことができる。 学年末試験70点以上得点者70%					
標準テスト等の目標							
月	単元・題材	主たる指導項目	主な言語活動	主な評価規準 関心・意欲・態度 話す・聞く 書く 読む 言語事項	主な評価方法		
1	本の世界を広げよう 「炎を見る」	作品を読んで感想をもつ(C 主題・要旨・意見)	読書記録	首里城復元を成し遂げた人々の思いを読み取り、人間・社会・文化について自分の考えをもっている。 読書案内等を参考に、歴史・文化・伝統をテーマとした読みたい本を三冊以上見つけようとしている。	読書記録		
		文化・伝統に関する読書計画(関心)					
	6 人間と言葉 「アラスカとの出会い」	文章の内容(C 表現の仕方)	読書記録	4つの作品を読む中で、自分にとっての「出会い」や「未来」を考えようとしている。 目的や意図に応じて文章を読み、表現の仕方や特徴をとらえながら筆者・作者の思いを読み取り、人間・社会などについて考えを深めている。 随筆や詩を読んで考えたことを、相手の立場や考えを尊重しながら話したり聞いたりして、自分の考えを深めている。	ノート ワークシート		
		文章の内容(C 主題・要旨・意見)					
		「出会い」について話し合う(A 発想・認識)					
		文章の内容(C 主題・要旨・意見)					
		「心のふれ合い」について話し合う(A 発想・認識)					
		詩の内容(C 表現の仕方)					
	「はじめに...」について	詩の内容(C 主題・要旨・意見)	読書記録				
		筆者のメッセージ(C 主題・要旨・意見)					
「言葉」について話し合う(A 発想・認識)							
2	未来に向かって	アルバム作りの計画(関心)	アルバム編集	アルバム編集に関心をもち、3年間で身につけた国語の力を生かして、思い出に残る作品を作成しようとしている。 卒業記念にふさわしい材料を集め、全体の構成・分量を考えて、書く内容や配列を工夫している。 レイアウトや表紙、題名などに自分らしさが表れるように工夫をしている。	構成メモ アルバム		
		構成を考える(B 構成)					
		材料を集める(B 発想・認識)					
		アルバムの作成(B 記述)					
	漢字 漢字の総まとめ	アルバムの作成(B 記述)	スピーチ	3年間の学習経験を生かして、アルバムにこめた思いが伝わるスピーチをすするとともに、スピーチを聞き合うことで自分自身と友だちについて理解を深め合っている。	スピーチ		
		推敲し体裁をととのえる(B 推敲)					
		スピーチの会 (A 語句や文)					
		スピーチの会 (A 語句や文)					
		漢字の総まとめ(言 漢字)				常用漢字の成り立ち、音訓や字義について正しく理解している。	ワークシート
		学年末試験					
3	書写				テスト		
		書写(言 卒業制作)		卒業にあたって自分が残したい言葉や文章を、相手や目的、内容にふさわしい書体を選び、配列・配置を工夫して書いている。	作品		
		書写(言 卒業制作)					
		書写(言 卒業制作)					
		学習のまとめ(関心)		3年間の国語の学習をふり返り、高校での学習に結び付けようとしている。	自己評価		
指導方法の工夫改善等		主体的な言語活動を促す教材・学習活動を工夫する。 多面的な評価(指導者による評価、ふり返りカードによる自己評価、伝え合う相手からの評価等)を指導の改善に生かす。					
課題・提出物等		読書記録、アルバム、書写作品、ノート、ワークシート					
未到達者への対応		学年末テスト実施後、補充課題をさせ、個別に指導する。					
総合的な学習の時間、道徳(教育)、特別活動との関連等							

福山中・高等学校 中高一貫シラバス（年間指導項目）

教科	国語
科目	
中高・学年	中学校3年
単位数	
年間授業時数	103時間

教科書	光村図書 国語3年 書写2・3年
副教材 1	よくわかる国語の学習3
副教材 2	楽しく学べる文法ノート
副教材 3	最新国語資料集
副教材 4	
副教材 5	

到達度目標
・自分のもの見方や考え方を深め、目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりする能力を身に付けさせるとともに、話し言葉を豊かにしようとする態度を育てる。 ・様々な材料を基にして自分の考えを深め、自分の立場を明らかにして、論理的に書き表す能力を身に付けさせるとともに、文章を書くことによって生活を豊かにしようとする態度を育てる。 ・目的や意図に応じて文章を読み、広い範囲から情報を集め、効果的に活用する能力を身に付けさせるとともに、読書を生活に役立て自己を向上させようとする態度を育てる。

備考
感動体験ジュニア・レポーターに全員参加し、1年間に5本の作品を書く。 木下夕爾賞へ全員参加する。 1年に1回は作文コンクールやスピーチコンテストへ応募する。 漢字・文法・古典の基礎事項のドリルを繰り返し行う。

指導期間	1学期前半（中間試験）	1学期後半（期末試験）	2学期前半（中間試験）	2学期後半（期末試験）	3学期（学年末試験）
到達度目標 (各指導項目)	[関]詩や小説の表現や内容に興味を示し、感じたことや考えたことを積極的に交流したり、相手を意識して説明の仕方を工夫して話したりしようとする。 [話]情報を正確に把握し、相手に合わせて情報を再構成し、言い換えたり解説を加えたりして、分かりやすく説明することができる。 [読]詩や小説の表現の特徴や構成に着目して、登場人物の人物や心情、書き手の思いをとらえることができる。 [言]複数の意味をもつ漢字の読み方と意味が分かり、使い分けることができる。 中間試験 70%以上得点者 70%	[関]メディア社会やメディアの働きについて関心を持ち、課題意識をもって文章を読んだり、自分が伝えたい題材を選び、工夫して新聞記事を書くことしたりする。 [書]身近な話題から知らせたい題材を選び、新聞の特徴に即して、表現や構成を工夫して新聞記事を書くことができる。 [読]問題意識をもって筆者の意見を読み取り、自分の考えを深めるとともに、俳句の特徴や約束事を理解し、使われている語句や表現に着目して例句を読み味わうことができる。 [言]行書の特徴に気をつけ、漢字と仮名を調和させて書くことができる。 期末試験 70%以上得点者 70%	[関]詩や小説の表現や内容、背景などに関心を持ち、作品を読み取ったり、パネル・ディスカッションの準備を積極的に進めたりしようとする。 [話]根拠を明らかにしながら、話の論理的な構成や展開を考えて意見交換し、テーマに対する自分の考えを深めることができる。 [書]身の回りの風景を描写する文章を書くことができる。 [読]詩を読んで、生きることや平和の意味を考えたり、情景や人物を描写する語句や表現、人物同士の関係の変化に着目しながら小説を読んだりすることができる。 [言]重箱読み・湯桶読みを区別して熟語を読むことができる。 中間試験 70%以上得点者 70%	[関]古典に関心を持ち、古文・漢文のリズムや響きを生かして声に出して読んだり、筆者の考えの根拠や述べ方に関心を持ち、論理的な文章を読んだりしようとする。 [話]表現の特徴に着目して古文・漢文を読み、自然や人生に対する作者の思いや考え方をとらえることができる。根拠や理由に着目して文章を読み、論理の展開を考えながら筆者の主張を読み取るとともに、自分の考えをもつことができる。 [言]配列・配置を考え、行書と仮名を調和させて書くことができる。難読熟語を正しく読むとともに、対義語・類義語を適切に使うことができる。イントネーションや表現によって生じるニュアンスの違いについて理解することができる。 期末試験 70%以上得点者 70%	[関]アルバム編集に関心を持ち、3年間で見つけた国語の力を生かし、自分にとっての「出会い」や「未来」を考えた作品を作成しようとする。 [話]随筆や詩を読んで考えたことを話し合うとともに、アルバムにこめた思いを伝えるスピーチを話し、自分自身と友だちについて理解を深め合うことができる。 [書]卒業記念にふさわしい材料を集め、書く内容や配列、題名などを工夫してアルバムを編集することができる。 [読]ドキュメンタリー、随筆、詩などの作品を読み、筆者や作者の思いをとらえるとともに、人間・社会・文化などについて考えを深めることができる。 [言]卒業にあたって自分が残したい言葉を選び、相手や目的、内容にふさわしい書体を選び、配列・配置を工夫して書くことができる。 学年末試験 70%以上得点者 70%
標準テスト等の目標					

学習項目	1 心在り方				2 社会をとらえる(メディア社会を生きる)				3 状況に生きる				4 古典を楽しむ				5 論理の展開(生き物として生きる)				6 人間と言葉			
	時間	主たる指導項目	教書頁	副教材頁	時間	主たる指導項目	教書頁	副教材頁	時間	主たる指導項目	教書頁	副教材頁	時間	主たる指導項目	教書頁	副教材頁	時間	主たる指導項目	教書頁	副教材頁	時間	主たる指導項目	教書頁	副教材頁
学習項目	1	(1) わたしを束ねないで			1	文章の内容(C 語句の意味・用法)	40-47		1	接辞・原稿の写真に寄せて			1	書写(言 行書と仮名)	26-27			1	本の世界を広げよう [ 炎を見る ]					
	2	2 詩の内容(C 主題・要旨・意見)	14-16		2	文章の内容(C 表現の仕方)	40-47		2	詩の表現(C 表現の仕方)	82-85		2	書写(言 行書と仮名)	30-31			2	作品を読んで感想をもつ(C 主題・要旨・意見)	154-165				
	3	(2) 握手			3	文章の構成(C 構成・展開)	40-47		3	作者の思い(C 主題・要旨・意見)	82-85		3	書写(言 行書と仮名)	32-33			3	文化・伝統に関する読書計画(関心)	166-168				
	4	3 作品の構成(C 構成・展開)	17-29		4	筆者の主張(C 主題・要旨・意見)	40-47		4	(2) 故郷			4	古典を楽しむ				4	人間と言葉					
	5	4 作品の内容(C 語句の意味・用法)	17-29		5	自分の考え・意見(A 発想・認識)	40-47		5	作品の構成(C 構成・展開)	86-102		5	(1) 君待つと 万葉・古今・新古今				5	(1) アラスカとの出会い					
	6	5 作品の内容(C 語句の意味・用法)	17-29		6	助詞の意味・働き(言 単語)	48		6	作品の内容(C 語句の意味・用法)	86-102		6	和歌への関心(関心)	114-118			6	文章の内容(C 表現の仕方)	174-181				
	7	6 作品の表現(C 表現の仕方)	17-29		7	助動詞の意味・働き(言 単語)	48		7	作品の内容(C 表現の仕方)	86-102		7	和歌の鑑賞(C 表現の仕方)	119-125			7	文章の内容(C 主題・要旨・意見)	174-181				
	8	7 作品の主題(C 主題・要旨・意見)	17-29		8	書く【新聞の特徴を生かして書こう】	50-57		8	作品の内容(C 表現の仕方)	86-102		8	和歌の鑑賞(C 語句の意味・用法)	119-125			8	「出会い」について話し合う(A 発想・認識)	174-181				
	9	8 敬語の理解(言 言語生活)	30-32		9	新聞の構成の特徴(C 構成・展開)	50-57		9	作品の主題(C 主題・要旨・意見)	86-102		9	(2) 夏草 「おくのほそ道」から				9	文章の内容(C 主題・要旨・意見)	182-185				
	10	9 漢字の形(言 漢字)	33		10	新聞の表現の特徴(C 表現の仕方)	50-57		10	風景を描写する(B 発想・認識)	86-102		10	作品の音読(C 表現の仕方)	126-133			10	「心のふれ合い」について話し合う(A 発想・認識)	182-185				
	11	話す・聞く【相手を意識して伝える】			11	情報収集・整理(B 発想・認識)	50-57		11	比喩と慣用語(言 語句、語彙)	103-104		11	(3) 学びて時にこれを習ふ 「論語」から				11	詩の内容(C 表現の仕方)	186-188				
	12	10 情報の整理・再構成(A 構成・論理)	34-38		12	記事の構成(B 構成)	50-57		12	熟語の読み方(言 漢字)	105		12	漢文特有の言い回し(C 表現の仕方)	134-136			12	詩の内容(C 主題・要旨・意見)	186-188				
	13	11 相手に分かりやすい説明(A 語句・文)	34-38		13	記事を書く(B 記述)	50-57		13	話す・聞く【話し合って考えを深めよう】			13	孔子のもの見方・考え方(C 主題・要旨・意見)	134-136			13	文章の内容(C 主題・要旨・意見)	166-168				
	14	12 相手・場所に応じた話し方(言 音声)	34-38		14	記事の発表・交流(B 評価)	50-57		14	パネル・ディスカッションの方法(関心)	106-112		14	身の回りの漢字(言 漢字)	137-138			14	(4) 「はじめに...」について					
		13 異なる意味をもつ漢字(言 漢字)	49		15	豊かな言葉【俳句の可能性】			15	テーマの決定(A 発想・認識)	106-112		15	5 論理の展開(生き物として生きる)				15	筆者のメッセージ(C 主題・要旨・意見)	189-191				
		14 中間試験			16	俳句の表現(C 表現の仕方)	58-63		16	情報収集(C 情報活用)	106-112		16	文章の展開(生き物として生きる)				16	「言葉」について話し合う(A 発想・認識)	189-191				
					17	俳句の鑑賞(C 語句の意味・用法)	58-63		17	自分の意見をもとめる(A 構成・論理)	106-112		17	文章の内容(C 語句の意味・用法)	140-145			17	話す・聞く、書く【未来に向かって】					
					18	俳句の鑑賞(C 語句の意味・用法)	58-63		18	パネル・ディスカッション(A 話し合い)	106-112		18	文章の内容(C 表現の仕方)	140-145			18	アルバム作りの計画(関心)	170-173				
					19	期末試験			19	中間試験			19	文章の論理展開(C 構成・展開)	140-145			19	構成を考える(B 構成)	170-173				
					20	書写(言 行書と仮名)	22-23		20	書く【説得力のある文章を書こう】			20	筆者の主張(C 主題・要旨・意見)	140-145			20	材料を集める(B 発想・認識)	170-173				
					21	書写(言 行書と仮名)	24-25		21	根拠となる情報の収集(B 発想・認識)	146-150		21	自分の考えをまとめる(B 事柄・意見)	140-145			21	アルバムの作成(B 記述)	170-173				
				22	本の世界を広げよう【高瀬舟】			22	コミュニケーション(言 語や文章・文)	151		22	対義語・類義語(言 語句)	152-153			22	アルバムの作成(B 記述)	170-173					
				23	小説を読んで感想をもつ(C 主題・要旨・意見)	64-77		23	対義語・類義語(言 語句)	152-153		23	期末試験				23	推敲し体裁を整える(B 推敲)	170-173					
				24	読書計画・読書記録(関心)	78-80		24	書く【説得力のある文章を書こう】			24	書く【説得力のある文章を書こう】				24	スピーチの会(A 語句や文)	170-173					
								25	根拠となる情報の収集(B 発想・認識)	146-150		25	文章の総まとめ(言 漢字)	192-198			25	スピーチの会(A 語句や文)	170-173					
								26	主張の内容(B 事柄・意見)	146-150		26	学年末試験				26	漢字の総まとめ(言 漢字)	192-198					
								27	意見文の構成(B 構成)	146-150		27	書写(言 卒業制作)	41			27	書写(言 卒業制作)	41					
								28	意見文を書く(B 記述、推敲)	146-150		28	書写(言 卒業制作)	44										
								29	意見文の交流(B 評価)	146-150		29	書写(言 卒業制作)	45										
								30	書写(言 行書を生かす)	32-33		30	学習のまとめ(関心)											
								31	書写(言 行書を生かす)	34-36														

備考	新川和江、井上ひさしの作品を授業の中で紹介する。	近代・現代の俳句や句集、森鴎外の作品を授業の中で紹介する。	石垣りん、魯迅の作品、戦争文学などを授業の中で紹介する。	文化・伝統などに関するドキュメンタリーや随筆などを授業の中で紹介する。 万葉集、古今集、新古今集、俳文、論語に関する本を授業の中で紹介する。	吉野弘、長田弘の作品を授業の中で紹介する。
----	--------------------------	-------------------------------	------------------------------	---	-----------------------